

ノートでコミュニケーション

越野運送ドライバーが自己評価

越野運送（越野泰弘社長、大阪市都島区）では、従業員とのコミュニケーションを図るために「自己成長ノート」を作成し、全営業所のドライバーと意見を交わしている。

部長は「ノートに書くことでドライバーの考えや今後の取り組み方が分かる」と話す。また、各営業所のド

ライバーとコミュニケーションを取れるツールとして活用する。業務以外の話題を記載することで管理職がドライバーの事情も把握できる。「社長はすべてに目を通して返事のコメントをいれるので、従業員も読んで

くれていると分かる。管理職と従業員をつなぐ大切なコミュニケーションツール」と語る。さらに、イベントや無事故報酬制度なども導入し、ドライバー個人が目標を明確に立てられる仕組みや職場環境を構築している。「職場環境も良くなり、接客で明るい笑顔やあいさつができるようになった。話をする機会も少ない従業員もいるので、しっかり近況を把握しコミュニケーションが取れる環境を今後とも作っていきたい」と語る。（中村優希）